

JAAF SHIMANE

島根陸協だより

一般財団法人島根陸上競技協会は各競技団体と協力し、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及と振興を図り、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を育てるための活動を行っています。

第15号

発行：島根陸上競技協会総務委員会広報部 2019年3月15日発行

一般財団法人 島根陸上競技協会

〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号(松江市営陸上競技場内) TEL/FAX: 0852-23-6686 ホームページ: <http://www.shimariku.jp>



島根で14年ぶりのフルマラソン

国宝松江城マラソン2018開催

5012人が挑戦 4724人完走

2018年12月2日(日)に島根陸上競技協会、松江市、山陰中央新報社、国宝松江城マラソン実行委員会の主催で、島根県で14年ぶりのフルマラソン「国宝松江城マラソン2018」を開催しました。大会名にもなっている国宝松江城の前を通過し、市街地を走り抜けたあと、宍道湖や中海の湖畔を駆け抜ける風光明媚なコース。この日本陸連公認コースに、多くのランナーが山陰両県を中心に全国各地から参加した5012人が挑戦し、4724人が完走しました。男子総合は2時間27分16秒で池本大介さん(鳥取・自衛隊米子)、女子総合は2時間48分45秒で俵千香さん(福岡県・TEAM R×L)が初代チャンピオンに輝きました。初めての大会で、運営面での課題も見つかりましたが、天候にも恵まれ、多くの皆さんに気持ちよく松江路を駆け抜けていただけました。また、この大会の島根県内への経済波及効果は4億1000万円と算出されており(日本政策投資銀行松江事務所発表による)、地元経済の活性化にも貢献できました。第2回大会は今年の12月1日(日)に開催予定です。皆さんに喜んでいただけるようによりよい大会を目指して改善を図っていきます。



松江城天守閣から撮影



スタート直後のランナーたち

第2回は、12月1日(日) たくさんのご参加をお待ちしております。



平成30年度一般財団法人島根陸上競技協会栄章受賞者 受賞者が以下のみなさんに決定し、1月27日(日)に授賞式が行われました。(敬称略)

功労章

永年にわたり本協会の発展に著しい功労があった方に対する表彰

長崎 敏明	松江市陸協推薦
大賀 勘一	益田市陸協推薦
片寄 哲男	島根マスターズ推薦



功労章を受賞された皆さん

優秀指導者賞

下記優秀選手の指導者

柳楽 達也	大社高校
吉川 正展	出雲高校
嶽 菜穂子	益田高校
別木 政彦	宍道高校
大野 常馬	益田中学校
本田 翔梧	浜田第三中学校
矢田 悦夫	久手小学校



優秀指導者賞を受賞された皆さん



優秀選手賞を受賞された皆さん

優秀選手賞

県新記録、県最高記録を樹立した選手及び全国大会で8位内に入賞した選手

澤 慎吾	日本大学4年	日本学生棒高跳3位、日本選手権棒高跳6位
多久和能広	順天堂大学1年	10マイル島根県新記録樹立
田中 真愛	日本体育大学4年	30km・マラソン島根県新記録樹立
長崎さゆり	大社高校2年	100mH山陰高校新記録樹立 全国高校100mH5位、国体少年A100mH3位、U-18日本選手権100mH3位
永岡宗一郎	出雲高校3年	走幅跳島根県高校新記録樹立 全国高校走幅跳2位、全国高校選抜2段跳び3位
園山実沙季	大社高校3年	女子棒高跳島根県高校新記録樹立
宮田 星乃	益田高校1年	国体少年B走幅跳7位
高橋椿太郎	宍道高校通信制	全国定通1500m1位、3000mSC1位
重岡 幸能	益田中学校1年	1年男子4×100mR島根県中学校新記録樹立
久保 陽向		
馬庭 大		
藤本 隆司		
佐々木悠里	浜田JAS	全国小学生走幅跳6位
松浦 知佳	大田陸上教室	ジャベリックボール投山陰・島根県新記録樹立



優秀選手賞の受賞者の声



宍道高等学校 通信制課程 高橋椿太郎

僕は平成29年6月に脳の病気が見つかりドクターストップを受け、走ることができなくなった。僕にとって陸上とは、すべてであり大切なものだった。走れない辛さを味わい、何もできないまま時間が流れ、9月に手術を受けた。手術後の出血で一週間昏睡状態になり、生死をさまよい再び手術を受けた。目覚めたら、言葉は話せず、視野の多くが欠けていた。身長は180cm、体重は38kgまで落ち、車椅子からのリハビリが始まった。体力と言語を戻すことは簡単ではなかったが、そんな時に助けてくれた仲間がいた。恩師がいた。家族がいた。「よく頑張った」「椿太郎の走りが見たい」その言葉で

どれだけ救われたのか。感謝しかない。もう一度走ろうと決め、助けてくれたみんなに恩返しをしたい。後遺症でハンディは多く苦戦はしたが、その分努力した。結果、全国という大舞台ですべてを出し切り二冠を達成することができた。勝ったと思った瞬間、今までの辛い経験、みんなからの励ましを思い出し涙がこぼれた。

この結果は自分の力ではなく、皆に助けられた全国制覇だった。陸上人生の中で一番幸せを感じたレースだった。「これからも陸上を愛し、走り続けます。」



出雲高等学校 3年 永岡宗一郎

2年目のシーズンが終わった頃、私は集大成となる3年のシーズンに向けて「インターハイで3位入賞」「県高校記録の更新」という2つの目標を立てました。そして前年度の反省を生かし、当時の自分に必要なメニューやコントロールテストなどの具体的な目標値まで細かく計画を立てました。

ほぼ計画通り大きなケガなくトレーニングを積むことができ、シーズン初戦ではセカンドベストを出し、目標達成に向け理想の形でシーズンインすることができました。順調にインターハイまでコマを進め、直前の国体予選では一つの目標であった県高校記録

を更新し自信を持って良い形で最後のインターハイに臨むことができました。

インターハイ本番では特に気負うことなくいつも通りの気持ちでいました。予選を1本で通過し、初の決勝進出。決勝の前には島根から応援に来てくれていたチームメイトがテントに来てくれ一緒に話をし、私も変に緊張することなく決勝に向かうことができたのだと思います。迎えた決勝ではとにかくいつも通り、自分の跳躍に集中して挑みました。自己ベストを更新して跳ぶことができ、2位。さらに県高校記録も更新しました。高校での目標、そして中学時代からの夢を叶えることができました。

こうして私は高校3年間でやってきたことをひとつ形として残すことができました。しかし、私一人では決して成し遂げられなかったことです。チーム全員が高い意識で練習したからこそ、私も日々集中できる良い環境の中でトレーニングができましたし、結果につながったのではないかと思います。チームメイトには本当に感謝しています。そして、出雲高校陸上競技部がこの先もずっと全員が高い意識で練習できる集団であることを願っています。

体力的にも精神的にも人間的にも成長を実感した高校3年間でした。今後も島根から世界を目指し、オリンピックの舞台で勝負できるよう、身も心もよりいっそう強くしていきたいと思います。



大社高等学校 2年 長崎さゆり

私にとって今回のインターハイは、前回と挑む思いが違いました。1年生で出場した前回のインターハイの目標は「1年生で入賞する」と意気込みましたが、目標は叶わず準決勝敗退でした。高校の全国大会は想像以上にレベルが高く、今の自分の力では決勝に進めない事を思い知らされました。とても悔しい気持ちから「来年は、必ず入賞して3位以上に入る」という新たな目標を立てました。

6月の中国総体では、自分の走りが戻り13秒台を久しぶりに出すことができました。

インターハイ出場が決まり、絶対に目標を叶えたかったので、その後も練習を積み重ね、出発前のハードル計測ではタイムがとても伸びていたので、自分に自信を持つことができました。

迎えた全国大会。練習から独特の雰囲気、緊張も高まりましたが、何よりも強い選手と戦える事がとても楽しみでした。予選は同学年の最大のライバルと走ることになり、絶対に負けたくない強い気持ちがありました。追い風参考ではありましたが、1位通過で準決勝に進むことができました。準決勝は苦手な向かい風が吹き、とても不安でしたが、決勝へ進むために必死で走り、1位で通過でき、1年生では立てなかった決勝の切符を手に入れました。

いよいよ念願の決勝のスタートラインに立ちました。私の両隣は、スタートが得意な3年生の選手がスタンバイしていました。ピストルが鳴り走り出しましたが、これまでのレースとは違い、力が入ってしまって、スタートから良い形で入れず、置いて行かれるレースとなりました。後半巻き返すこともできず、5位という悔しい結果に終わりました。私の右隣にいた選手は、この大会で高校日本新記録を樹立した千葉県的小林選手です。スタートもスプリントも速い小林選手の隣で走れたことは、とても良い経験になりましたが、レベルの差、決勝で自分の力を出せない精神面の弱さを感じ、悔しい気持ちでいっぱいになりました。

レースを振り返ると、順位と決勝での走りに満足はしていませんが、予選では追い風参考ではありましたが、もう少しで高校2年歴代1位だったこと、準決勝では向かい風の中でも自己ベストを出すことができたので、今の私の最大限の力を発揮できたと思います。そして何よりも、決勝の舞台で走れたことは、最後のインターハイに繋がる良い経験になりました。今回の悔しさを晴らすのは次回しかありません。今度こそ一番高い場所に立ち、笑顔で終わりたいと思います。3度目の挑戦。最高の舞台で、最高の自分の走りができるようチャレンジャーの気持ちを忘れず日々努力を重ねて強くなっていきたいと思います。

しおかぜ駅伝 (第27回益田-浜田間駅伝競走大会) 松江チームが3年ぶり11度目の優勝

●総合順位

1位	松江	2時間11分40秒
2位	浜田	2時間11分47秒
3位	奥出雲	2時間12分41秒
4位	出雲	2時間13分22秒
5位	益田	2時間14分35秒
6位	斐川	2時間17分25秒
7位	韋駄天雲南	2時間17分57秒
8位	江津	2時間19分20秒
9位	雲州平田	2時間19分23秒
10位	金城	2時間19分40秒

●区間賞

1区	三浦 優葉 (益田)
2区	尾林 恒星 (出雲)
3区	千原 康大 (松江)
4区	福濱 駿 (浜田)
5区	米山 光輝 (出雲)
6区	水津 陽 (益田)
7区	三賀森 智哉 (松江)
8区	村岡 拓弥 (松江)
9区	水野 優 (益田)



2018都道府県駅伝競走大会の結果

男女とも40位台で苦戦 女子47位・男子40位

女子結果

【総合成績】 **47位**

【総合記録】 **2時間30分35秒**

1/13
目 京都

区間 (km)	選手	(通過) 記録	区間
1区 (6.0)	三浦 優葉 (益田東高)	(44) 21分25秒	44
2区 (4.0)	小玉 芽依 (東亜大)	(44) 14分06秒	46
3区 (3.0)	田邊 心 (河南中)	(45) 10分27秒	44
4区 (4.0)	田中 愛樹 (平田高)	(44) 14分16秒	40
5区 (4.1075)	井上実乃里 (松蔭大)	(43) 14分24秒	28
6区 (4.0875)	今岡宥莉香 (平田高)	(44) 14分16秒	47
7区 (4.0)	柘植裕季葉 (松江北高)	(45) 14分16秒	47
8区 (3.0)	来間 美月 (河南中)	(45) 11分13秒	43
9区 (10.0)	黒田 純菜 (TOTO)★	(47) 36分12秒	47



島根県女子チーム

(★はふるさと選手)

男子結果

【総合成績】 **40位**

【総合記録】 **2時間25分48秒**

1/20
目 広島

区間 (km)	選手	(通過) 記録	区間
1区 (7.0)	高見 真拓 (出雲工業高)	(37) 21分16秒	37
2区 (3.0)	伊藤 蒼唯 (河南中)	(38) 9分20秒	41
3区 (8.5)	田部 幹也 (桜美林大)	(42) 25分46秒	43
4区 (5.0)	杉原 健吾 (開星高)	(39) 14分45秒	17
5区 (8.5)	上田 陽向 (出雲工業高)	(40) 26分40秒	43
6区 (3.0)	米山 光輝 (河南中)	(42) 9分15秒	41
7区 (13.0)	松尾 修治 (中電工)★	(40) 38分46秒	28



島根県男子チーム

(★はふるさと選手)

駅伝・クロスカントリーリレー 全国大会の結果

◆第21回全国小学生クロスカントリー研修大会

平成30年12月9日 万博記念公園特設コース

小笠原遥・田村壘斗・石川音羽・森口凱生・名原真音・田邊優治

22位/ 邑智JTS 総合タイム：33分02秒



邑智JTS
22位と大健闘



◆第26回全国中学校駅伝競走大会

平成30年12月16日

希望が丘文化公園スポーツゾーン特設コース

男子

39位/ 出雲一中

総合タイム：1時間00分02秒

榎原樹弥・中尾歩夢・岸 龍吾・金川岳史
佐々木一哲・落合翔大

女子

32位/ 河南中

総合タイム：43分56秒

来間美月・今岡真佑・富岡心琴・森 彩夏
田邊 心

◆男子第69回・女子30回 全国高等学校駅伝競走大会

平成30年12月23日 西京極陸上競技場付設駅伝コース

男子

42位/ 出雲工業高

総合タイム：2時間12分11秒

高見真拓・陶山輝文・岸本和真・上田陽向
小田原颯汰・田部智暉・小瀧未久登

女子

56位/ 平田高

総合タイム：1時間15分42秒

田中愛樹・今岡宥莉香・福岡涼子・山本 春
野津きなり

普及育成部の活動

中高生に応じたトレーニング講習会

とき 2月2日(土)

ところ 川本中学校

講師 国際武道大学 眞鍋芳明先生



体育館での実技指導の様子



講師の眞鍋先生

2月2日(土)、川本中学校に邑智地区の中高生約30人とその指導者が集まり、国際武道大学の眞鍋芳明先生から図書室で講義を、体育館で実技指導をしていただきました。眞鍋先生の楽しくわかりやすい説明に生徒たちは目を輝かせて講義を受けていました。実技指導では、基本的な身体の動かし方を体感し、競技力向上への意識を高めました。中山間地域の子もたちにとっては大変貴重な体験となりました。



図書室での講義の様子

2018年度 賛助会員

本協会の活動趣旨に賛同していただき、賛助会員になっていただいた団体会員・個人会員の皆様のうち、お名前の掲載にご快諾いただいた方々を紹介いたします。

◆法人会員

浅利観光(株) 菅公学生服(株) 島根マスタース陸上競技連盟 フジキコーポレーション(株)

◆個人会員

相見 真吾	安達 寛	有福 善一	生馬 武弘	大向 謙二	加藤 裕治	近藤 隆久
柴田 和治	周藤 博美	須山 京吾	高島 克治	土江 幹雄	藤間 恵一	名原 昌邦
錦織 伸行	野田 嘉彦	長谷川 潔	原田 吉邦	藤井 清史	細川 寿雄	細田 雅大
細田 智大	堀江 勉	持田 信治	森山 健一	森脇 宏	山川 博司	山口 明彦
山口 陽子	吉田 政司	渡辺 祥二				(順不同・敬称略)

●あたたかいご支援誠にありがとうございます。お寄せいただきました会費は、本協会の様々な活動に役立てていきます。

2019年度一般財団法人島根陸上競技協会 賛助会員の募集について

島根陸上競技協会では、活動に賛同し援助していただける賛助会員（団体・個人）を募集いたします。年度ごとの会費を納めていただくと賛助会員として登録され、会員には広報紙の配布や5口以上の企業・団体会員については県陸協主催大会のプログラムへの広告掲載などの特典があります。

本協会のホームページに掲載の趣意書をご覧ください。右記の要領でご入会ください。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。たくさんの方のご支援をお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

記

1. 年会費

個人会員→年額 2,000円を1口として、1口以上
企業・団体会員→年額10,000円を1口として、1口以上

2. 申込期間 2020年3月31日まで

3. 払込方法

郵便局での払込→別紙払込取扱票をご利用ください。
(払込料不要)

直接支払→協会事務局にご持参ください。

事務局

〒690-0015 松江市上乃木十丁目4番1号 (松江市宮陸上競技場内)
TEL/FAX (0852) 23-6686 ホームページ <http://www.shimariku.jp>

平成31年度の島根陸上競技協会主催の競技会予定

開催予定日		大会名
4月	14日	宍道湖一周駅伝競走大会 (松江)
	20日・21日	出雲陸上競技大会 (浜山)
5月	4日・5日	島根陸上競技選手権大会 (益田)
7月	13日・14日	国民体育大会県予選会 (松江)
12月	1日	国宝松江城マラソン (松江)
	8日	益田-浜田間駅伝競走大会



国宝松江城マラソンの一場面